

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 金沢市立高岡中学校 (※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>  
☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫）  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む  
所在地 〒921-8013  
石川県金沢市新神田1-10-1  
E-mail takaoka-j@kanazawa-city.ed.jp  
Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/takaoka-j/  
幼児児童生徒数 男子 355 名 女子 340 名 合計 695 名  
幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「考動力・貢献力・活用力」を活動テーマとして、ESDを環境教育、世界遺産や地域の文化財などに関わる教育と捉え、ESDの実践を通して多面的、総合的に考える力や他者と協力する態度の育成を目標とした。

具体的には、考動力、貢献力、活用力を柱に、①地域との関わりに係わる活動、②郷土に係わる教育、③防災に係わる学習、④活用力に係わる学習を行った。

### ① 地域との関わりに係わる活動

当校では年に2回、登校途中の通学路に落ちているゴミを拾う活動を行っている。また、秋に行われる文化祭では、地域からもたくさんの方が来校する。特に模擬店では、3年生がPTAや校区にある商店の方々と協力し、地域の方々をもてなす活動を行っている。

ボランティア活動や文化祭を通し、自分たちが生活環境を見直す良い機会となり、地域に貢献することの大切さを学ぶことができた。

## ② 郷土に係わる教育

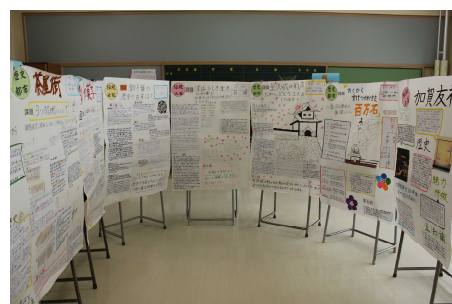
総合的な学習の一環として、1年生では『金沢の歴史と伝統を学び、考える ～100年先に残したい金沢～』というテーマで、「伝統芸能」「伝統工芸」「歴史都市」の3分野について調べ学習を行った。「伝統芸能」「伝統工芸」の分野では、金沢の伝統芸能・工芸を100年後まで伝えるためには、どのような行動が必要かを、「歴史都市」の分野では、金沢の町の魅力を100年先に残していくにはどうすれば良いか、自分たちの考えをまとめた。

## ③ 防災に係わる教育

3年生、修学旅行で兵庫県の舞子高校の防災科の学生と「U S Jで地震が起こったら…」というテーマでディスカッションした。予想される被害や二次被害、それを受けてどんな行動をとるかについて高校生とディスカッションする中で、防災に関する理解を深めた。学校に戻ってきてからは、学んだことや交流してきたことをまとめ、文化祭で全校生徒にむけて防災について発表した。全校生徒が災害や防災について考えるきっかけとなった。

## ④ 活用力に係わる教育

『活用力』をテーマに、2年生では自分たちが住んでいる金沢市と他郡市4カ所を入れた5カ所のうち2カ所を1日でまわる自主プランを行った。事前学習で、金沢から他郡市への行き方や時間内に指定場所に行くためのプランニングの学習を行い、その学習をもとに、当日渡された各グループの行き先とそこでの課題が書かれた指令書もとに、自分たちでプランニングをして課題をクリアするといったものであった。自主プラン中には、これまでの学習を活かす姿や班で協力する姿が多く見られた。



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16.ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他( 地域とのつながり )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし
------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

当校では、総合的な学習に位置づけ、１年生から３年生まで系統立てて「郷土金沢」や「防災」についての学習を進めてきた。「郷土金沢」については、『歴史都市金沢を１００年先まで残すために』をテーマに、金沢の伝統工芸や芸能、文化、街並みについて学び、日本の伝統的な古都京都と比較することで、郷土について深く学んできた。また、郷土金沢を学習する中で「防災」という視点でも金沢について学んだ。  
学校行事においても、文化祭やボランティア活動をする中で「地域とのつながり」や「環境」について重点的に取り組んだ。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

総合担当が中心に、各種会議などを通して教師間での共通理解を図った。総合担当はこまめに集まり、各学年のユネスコスクールにおける活動内容について、前年度の活動を引き継ぎ、さらに発展させるなど、相談し活動に取り組んでいった。また、保護者懇談やお便りを通じて、保護者にもユネスコスクールについての理解を図った。  
学校行事においては、職員会議を通して活動の趣旨などを明確にし、全職員で取り組んできた。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動の評価として、生徒、保護者、教師にアンケート調査を行い、次のことが見えてきた。１つ１つの取り組みは、生徒たちも真剣に取り組み、考えることができた。しかし、取り組んだあとに各活動で学んだことを活かせる場面が少ないことや、どのように活かしていけば良いのかイメージできないこともあって、自発的な活動へとつながらなかった。生徒たちに確実な力とするために、どのような仕掛けをしていくかが課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校便りや学年便り、学校ホームページを通して、今年度、行ってきた活動を定期的に発信してきた。また、文化祭という行事を通して、これまでの学習について、舞台または展示という形で発表をした。その結果、保護者をはじめ、地域住民の理解を図ることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

校区内の公民館ごとに、震災がおこったことを想定し、避難場所に集まる活動を夏休みに行った。避難場所に集まるだけでなく、各避難場所では、震災が実際におこったときの行動について学んだり、集合場所の清掃活動を行ったりするなど、地域の人たちと協働した。  
2年生の時から総合的な学習の時間に学んできた防災学習を生かし、兵庫県にある舞子高校防災科と「USJで地震が起きたら…」をテーマにディスカッションをし、交流した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

他校のユネスコスクールの取り組みに関する発表会の要項から、当校のユネスコスクールの取り組みについて参考にした。  
金沢市の取り組みの一環として、金沢市のユネスコスクール加盟校が各校取り組みをまとめたポスターを一同に展示した取り組みに参加した。また、各校のユネスコスクールの取り組み報告書が1冊にまとめられ、各校に配布される予定であり、各校の取り組みについて知ることができる。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

市内にとどまらず他郡市にも行動範囲を広げ、自主プランを行った。これまでの自主プランとは形式を変え、午前と午後の行き先をそれぞれ直前に渡し、事前学習を生かして活動できるよう工夫した取り組みを行った。それによって、修学旅行では、京都と大阪、大阪と奈良といった、広範囲での自主プラン活動を行う基礎をつくることができた。  
他校種との交流に加え、防災について学ぶ防災科との交流によって、防災意識の高まりが見られた。  
文化祭やボランティア活動によって生徒と地域住民とのふれあいの場が増え、地域を見直す良いきっかけとなった。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

来年度は、オリンピック・パラリンピックを壮大なテーマとし、これまで学習してきた郷土金沢の学習とリンクさせながら、バリアフリーやユニバーサルデザインについての学習を3年間系統立てて学んでいく。1年次には、オリンピック・パラリンピックについて学んだ後、パラリンピックに視点をおき調べていく。2年次には、金沢自主プランを通して金沢のまちのバリアフリーやユニバーサルデザインについて考える。3年次には、これまで学習してきたことをもとに、ユニバーサルデザインが施された金沢を提案していく。また、高中祭やボランティア活動における地域とのつながりや環境保全に関する取り組みも継続して行う。